
無関心

宇ノ鹿 すい

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無関心

【Nコード】

N40470

【作者名】

宇ノ鹿 すい

【あらすじ】

無関心っていうかよくわからない

あんたは何をしてる。
あんたは何もしてない。
あんたは生きてる意味が無い。
あんたは呼吸する価値が無い。
あんたには友達と呼べる友達すらない。
あんたにはあなたなりの真実を掴み取るほどの気概すらもない。
あんたには飛べる翼がない。
あんたには墜落する勇気がない。
あんたにはやる気がない。
あんたには心意気がない。
あんたには住む場所がない。
あんたには優しさがない。
あんたには厳しさがない。
あんたには温もりがない。
あんたには突っ切るものがない。
あんたには関わることはない。
あんたには仕事がない。
あんたにはいる場所がない。
あんたにはいる時間がない。
あんたには落ち着く暇がない。
あんたには飯を食う金がない。
あんたには他人を養う余裕がない。
あんたには他人に気を配る余裕がない。
あんたには他人の言葉に耳を向ける耳がない。
あんたには目を向けてくれる相手がいらない。
あんたには目を背けてくれる相手がいらない。
あんたには怒号を浴びせてくれる人がいない。

あなたには暴力を振るわれる理由がない。

あなたには希望がない。

あなたには夢がない。

あなたには駄目と呟く気力もない。

あなたには他人に注意される理由がない。

あなたには空気と同化する力もない。

あなたには怪力がない。

あなたにはサプライズがない。

あなたには心意気がない。

あなたには叫びがない。

あなたには全てがない。

あなたには虚無がない。

あなたには希望がない。

あなたにはやるせなさがない。

あなたには笑顔がない

あなたには泣き顔がない

あなたには他人に怒りを向ける理由がない

あなたには表情を変えるのが面倒でしかない

あなたには他人と目を合わせるのが恐ろしくて仕方がない

あなたには他人とかかわりあうことが恐怖の一部でしかない

あなたにはホラー映画の恐怖が人の作ったものだと思える優しささえもない

あなたには目の前の番組に注がれた心血に対しての優しさなどはない

あなたには怒りを向ける方角さえも見当がつかない

あなたには愚痴をこぼす相手がいない

あなたには寒さを温めてくれるこたつの温もりを知る機会さえもない
と同時に機械を求める心だけはありそれが無関心を求めているのだ
と己の気持ちに気が付く自意識さえもない

あなたには自分の心などという言葉がナルシストの吐くくだらない
言葉だという理解しかないからこそその嘲笑を浮かべることが可能

なのだろうあんたには生きる意味がないよ

あんたには笑顔の裏に潜まれた本当の侮蔑を知る勇気がない
めちやくちゃになることで他人に迷惑をかけているということを悟
って控えるという行いをするのができないから今めちやくちゃに
なることで、あなたはどんどん自分の立場を崩壊させている

そのことに対する危機感を悟ることが出来ないのは、あなたが人の
恐怖を知らないからだ。

あなたは孤独になる。繁栄する。盛者必衰などというかつこいい言
葉ではなく、ただの負け犬としてののしられる日々

だけどそれに対して反骨する気概もない

もうだめだ

もうだめだ

もうだめだ

違う元からだめだった

輝くのは今からだぜ

なんて情熱はからつきしとりあえず冷めている

だけど冷めた上で

他人にどう思われてもいいと思うのとはまた別の問題だ

あんたには無感情しかない。

だから私たちは感情を手にしたい。

世界に手を伸ばすための心意気を手にするために人とわかりあうた
めに

他人に耳を向けて目で世界を眺める必要がある

脳味噌をフル回転させて他人をののしり

それを通じて全てを理解し合えるほどの何かを手にするために

光の渦となって回転して天へと昇り上がり一つの輝きとなるために

だけど私は無感情のままだ

私はあんたらに興味が湧かないままだ

だから光の渦はデフレスパイラルのように負の方向へとだけ突き進む私には無感情しかない。

だからお前をひきずりこんだ

虚無の連続にみせかけた有象無象の愚痴を零し続けてあなたの体力を奪い取った。

「だけでもう無感情

昔から無感情

あんたらに興味を持たない」

フフフフフフフフフフフフフフフフフフフフフフフ
ふふふふふふ

滑って転んでスリップして働きに出る

バイト先でいつもの世間話うふふふふ

無関心な右と左が心臓さえもそっぽを向いているが

口先だけは相手の耳へと届き、逆側から飛び出ている

俺たちあたしたち私たちわつついたち僕達

もう無感情無感情無感情

ウフフフフフフフフフフフフフフフフフ
ふふふふふふ

他人の影響を受けまくって楽しいなあ

自分らしさをなくしていつて嬉しいなあ

一人になって嬉しいなあ

みんなに構われなくて嬉しいなあ

違っただろって

戦わなくちゃいけないんだ。

戯言なんかじゃない。俺たちは戦うんだ。

誰と？

人と戦うんだ。人とは誰だ？ 人とはあなただ。人とは私だ。人と

は物語だ。人とはドラマだ。

人とは言葉だ。人とは絵だ。人とは姿だ。人とは世界だ。人とは私

たちだ。人とはあなた達だ。

人とは僕だ。人とは君だ。人とは物語だ。人とはフィクションだ。

人とはノンフィクションだ。

人とは寄生虫だ。人とは妖精だ。人とは糞だ。人とは糞だ。人とは

夢だ。人とは現実だ。

この全てを内包しているものと俺たちは戦うんだ。戦わなくちゃいけないんだ。

何のために。それは幸福のためだ。

俺たちは幸せになるんだ。俺たちは幸せになるんだ。俺たちは幸せになるんだ。

幸せになるために戦うんだ。誰と？

全てを内包しているそれらと俺たちはたたかうんだ。

気を抜いたままでいいんだ。気を張っててもいいんだ。とにかく、

戦うんだ。

あなたの幸福を掴み取るために俺たちは、戦うんだ。

俺たちの幸福を見つけ出すために、俺たちは戦うんだ。

誰と戦うんだ。人と戦うんだ。

手を取り合ってウフフと笑いあいながら戦うんだ。或いは、切っ先を向け合いながら血を流しつつ微笑みあうんだ。全てを理解していなくても全てをわかったふりをして微笑むんだ。それがしたくないならそうすればいいんだ。そうしないように戦うんだ。命を尽かしたくないなら嘘をつけばいいんだ。命を尽くしても誇りを守りたいならそうすればいいんだ。誇りを捨てても生きたいならそうすればいいんだ。社会を幸福にするために命を捨てたいならそうすればいいんだ。

俺たちは幸福を掴み取るために何かを犠牲にして何かを得るんだ。

俺たちは不幸をもぎとるために常に幸福を犠牲にして消えていくんだ。

答えがないままに突き進んで果てていくことに絶望を感じてもただひたすらに消えるまでは戦うんだ

そして最後に大爆発して、或いは、病院のベットで。

意思表示も難しくなったせつないやるせなさに身をやし

朝日を望みながら、消え去る

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4047o/>

無関心

2011年11月13日05時19分発行